

2020年度地区協議会事業について

1 地区協議会とは

地区協議会とは、地区の課題解決と魅力向上のために、様々な団体が集まって知恵を出し合い、協力しながら取り組むネットワーク組織です。組織単位は、町田市町内会・自治会連合会の地区連合会の10地区を基盤としており、地区の特性に合わせた様々な事業に取り組んでいます。

地区協議会には、町田市町内会・自治会連合会の地区連合会、町田市青少年健全育成地区委員会、町田市民生委員児童委員協議会の3団体を中心に、小・中学校や高校、大学、社会福祉法人、消防団など、様々な団体が参加し、協力しています。



【おむすび食堂事業】

玉川学園・南大谷地区協議会



【地域交流事業(ボッチャ部活動)】

高ヶ坂・成瀬地区協議会



【地域活性交流事業(防災・防犯事業)】

木曽地区協議会

2 地区協議会への支援

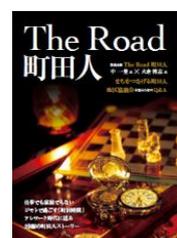
地区協議会は、課題解決に取り組むネットワーク組織として地区の中核を担っています。市は地区協議会と連携・協力しながらよりよい地域社会づくりを推進していくと共に、その活動の魅力や効果を積極的に発信するなどの支援を行っています。

(1) 地域予算の交付	(2) 活動場所の確保	(3) 地区担当職員
課題解決や魅力発信を目的とした事業に対し、「地域予算」として100万円を限度とした補助金を、各地区協議会に対して交付しています。	地区協議会や構成団体の活動拠点となり、会議や事業に使用することができる「地域活動室」を市民センターなどに設置しています。	「地域おうえんコーディネーター」が各地区協議会を担当する職員として、地区協議会の運営や活動を支援するとともに、行政とのパイプ役を担っています。

※2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント開催が困難な状況でありましたが、各地区協議会で感染予防対策を行い、可能な範囲で事業が実施されました。

地区協議会の魅力発信

地区協議会の魅力を伝え、多くの市民に興味を持ってもらえるよう地区協議会PR冊子を作成しました。各地区協議会の事業に共感し、活動されている方に光を当て、暮らしの中の身近な活動を紹介しています。また、広報まちだ2020年8月15日号1、2面に地区協議会の特集を掲載しました。



地区協議会PR冊子
「The Road 町田人」

3 2020年度各地区協議会の実施事業（補助金対象事業のみ）

地区協議会名	南地区協議会		
実施事業	「地域の見守り事業（南あんしんプロジェクト）」「広報広聴事業」		
補助金	213,458 円	スタッフ数	延べ71名

地区協議会名	高ヶ坂・成瀬地区協議会		
実施事業	「環境美化事業」「地域交流事業」ほか3事業		
補助金	448,036 円	スタッフ数	延べ名102名

地区協議会名	原町田地区協議会		
実施事業	「防災事業」「広報広聴事業」		
補助金	238,740 円	スタッフ数	延べ55名

地区協議会名	町田第二地区協議会		
実施事業	「連携促進事業」「高齢者の見守り事業」ほか1事業		
補助金	348,923 円	スタッフ数	延べ168名

地区協議会名	玉川学園・南大谷地区協議会		
実施事業	「玉南・玉ちゃんサービス事業（玉川学園地区）」「おむすび食堂事業」ほか8事業		
補助金	857,232 円	スタッフ数	延べ254名

地区協議会名	鶴川地区協議会		
実施事業	「地域活性化事業」「くらしの総合相談事業」ほか1事業		
補助金	1,000,000 円	スタッフ数	延べ540名

地区協議会名	木曾地区協議会		
実施事業	「広報広聴事業」「地域活性交流事業（防災・防犯事業）」		
補助金	302,780 円	スタッフ数	延べ28名

地区協議会名	忠生地区協議会		
実施事業	「広報事業」「交流親睦事業」		
補助金	747,273 円	スタッフ数	延べ60名

地区協議会名	小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会		
実施事業	「オープンガーデン広報事業」「安心・安全な街づくり事業」ほか1事業		
補助金	899,097 円	スタッフ数	延べ150名

地区協議会名	相原地区協議会		
実施事業	「住民の生きがいきづくり事業」「地域活性化事業」ほか1事業		
補助金	664,718 円	スタッフ数	延べ228名

【全地区合計】 補助金：5,720,257 円 スタッフ数：延べ1,656名